



国保日高総合病院

タッチ

TOUCH



となりにある自然

ノビタキ
撮影場所：紀の川市貴志川町井ノ口
撮影者：谷脇智和

も く じ

- 地元のマイドクター・・・・・・・・・・・・・・・・(2)
- 回復期リハビリテーション病棟開設・・・・・・・・(3)
- 医療安全研修会・・・・・・・・・・・・・・・・(4)
- 人権接遇研修会・・・・・・・・・・・・・・・・(5)
- New Face!・・・・・・・・・・・・・・・・(6)
- 車イスの寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・(6)
- 表彰・認定・研修修了者等・・・・・・・・(6)
- 大規模地震時医療活動訓練報告・・・・・・・・(7)(8)(9)
- 外来診療担当医師表・・・・・・・・(10)

No.42

2017年10月

地元の マイドクター

〒644-0002
御坊市菌652-2
電話 0738-22-1968



やまばいちょうかないか
山羽胃腸科内科



院長 山羽 義貴

●院長からのメッセージ

- 1) 開院から現在までの経緯
平成9年4月、父の開業した山羽医院を継承し、場所を変えて山羽胃腸科内科を開業し今日に至っています。
- 2) 診察で力を入れていることや特徴
多種多様な疾患を患っている高齢の患者さまが多く来院され、当院では手に負えない疾患も見られるため、積極的に病診連携を活用し、病院での精密検査・短期入院を勧めています。その他、毎年数カ所の老人会で健康への関心を持っていただくと思い、講演会をおこなっています。今年のテーマは「救急医療について」です。
- 3) 診察で大切にしている事
患者さまの身になって対応する。優しく、丁寧に接する。的確な診断、治療を行う。これらが実践できるように努力しています。
- 4) 日高病院との連携
救急対応、精密検査、入院治療、患者さまにも紹介医にとっても迅速で親身な対応に感謝しています。特に、東先生、青枝先生にはお忙しいところ電話にて私の疑問に答えていただき感謝致します。
休日当番の時には、日高病院の当直医、クラーク、検査技師各位には大変お世話になっており、ありがたく思っています。
父が昨年より循環器内科で治療を受けています。あらためてお礼を申し上げます。
- 5) 地域の皆様に一言
今までと変わりなく、地域医療に邁進してまいります。また、予防医学とまではいかないまでも、少しでも健康で長く生きられるように老人会等で啓蒙活動を続けていきたいと思っています。
- 6) 広報誌タッチへの要望
医局員の紹介を掲載していただければ、紹介患者さんの主治医のプロフィールがわかり安心感が持てると思います。よろしくご検討ください。



診療科
内科・胃腸科
消化器科・X線科
リハビリテーション科

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
午後 2:00 ~ 6:00	●	●	●	/	●	/

※木、土曜日は午前診のみ 日曜、祝祭日は休診

回復期リハビリテーション病棟の開設によせて

脳神経外科 尾崎文教

本年9月 一般病棟3階に30床の回復期リハビリテーション病棟（以下、回リ八病棟）が正式にスタートしました。この数年間、旧6階病棟が休床状態にあり、地域医療への貢献や病院の活性化のためにも再開が急がれました。そこで昨年、日高御坊医療圏の地域医療構想会議の場で、度重なる協議の末、当医療圏で不足している回リ八病棟として30床で再開することに決定しました。このたび完成した回リ八病棟は、大変清潔



で機能的です。個室のみならず4人使用の大部屋も、一人あたりの占有面積は広く快適にリハビリ治療に専念できる環境にあります。回リ八病棟はリハビリ治療が必要な方に良質で比較的長期の入院治療を提供するもので、現在は、整形外科や脳外科疾患が主な対象ですが、将来的には、呼吸器疾患や循環器疾患にも適応が拡大するのではと思います。

超高齢化を迎えた当地域では、地域包括ケア病棟（以下、地包括）とともに回リ八病棟の必要性は今後も高まります。両病棟の相違点ですが、地包括はリハビリ治療の他に、軽症の救急や一部の手術患者の受け入れ、またレスパイト入院も可能です。地包括は、利用範囲が広く、多用途で便利な病棟といえます。一方、回リ八病棟は急性期治療の後にリハビリが必要な方が対象で用途が限定された病棟です。この似て非なる二つの慢性期病棟を円滑に運営するのがこれからの課題になります。

回リ八病棟の完成で、救急医療にも好影響がもたらされます。救急で入院された患者様は、以前のように転院先を気にすることなく、治療に専念することが可能となります。最前線で奮闘する救急医療とそれを後方で支える慢性期病棟が車の両輪となり、今後の病院運営の柱になることを確信します。

皆様方には、今後とも救急患者を積極的に受け入れて頂くことをお願い申し上げます。

急性期治療の後に、円滑に回リ八病棟や地包括に移っていただき、当院で急性期から亜急性期、慢性期まで切れ目のない医療を地域の方に提供していければと存じます。

この数年の懸案事項であった休床病棟の問題が解消し、これからは当院の再出発となります。どうか皆様のご尽力を賜り、地域医療にとり益々有用な病棟になることを深く願います。



医療安全の取り組み ～患者さんを確認する方法について～

医療安全対策委員会 羽場政法

当院では、入院患者さん、外来患者さんに安心して治療を受けていただくために、医療事故防止に努めております。今回は患者さんを確認する方法についてお話しさせていただきます。

・患者誤認による手術取り違い事故

1999年横浜市立大学病院で、「肺手術と心臓手術の患者さんを取り違えて手術した。」という医療事故が起きました。とんでもない事故ですが、この中で、患者さんに違う名前呼びかけたにもかかわらず、患者さんは返事をしています。もちろんこれだけの理由で事故が起きたわけではありませんが、呼びかけに対する返事では、患者さんを確認できないことが、多くの医療事故で指摘されています。

・患者さんを確認する方法

このような医療事故を防ぐために、「お名前と生年月日を患者さんに言ってもらう」という、患者さんの確認方法があります。これは診察券を提示する以上に効果のある身分証明です。当院でもこの方法を取り入れることになりました。ご本人であることを確認するために、様々な場面で「お名前」と「生年月日」をお聞きします。



・患者さんご本人、ご家族の参加が重要です。

医療事故防止は医療従事者のみでなく、患者さんの積極的な参加が重要で、当病院をご利用いただく皆様のご理解とご協力が不可欠です。すでに患者さんと医療従事者の間で良い関係が作れており、顔見知りで名前を聞かれることに抵抗あるかもしれませんが、医療を安全に患者さんへ提供するための方法だとご理解をいただき、ご協力をお願いします。

人権接遇委員会・働きがいのある職場作りプロジェクト ～合同研修会を開催して～

人権接遇委員会 西森敬司

9月7日、11日、29日の3日間、ハーモニークリエイション（株）の白石恵美子先生を講師にお招きし、院内研修会が行われました。テーマは「働きがいのある病院をみんなで作る大集会 - よりよい病院を目指して -」です。今回の研修会では、ハラスメントに関する話題を中心に、ハラスメントの行為類型について、またハラスメントの職場への深刻な影響などわかりやすく説明していただきました。そして加害者は1人でなく、被害者を批判したり、加害者を擁護する二次加害者が発生し、被害者も1人でなく、被害者を支援する人や見て見ぬふりする人たちも被害者となることにより、職場の雰囲気が益々悪くなっていくとのことでした。

病院とは、仕事が忙しく、さらにミスが許されないというストレスフルな労働環境であり、また対人関係のストレスも多い職場であるため、パワーハラスメントが発生しやすいとされています。

今回の研修から、医療チームのスタッフ、後輩を教育・指導する立場の医師や看護師は、自分が気付かないうちにパワハラ加害者と受け取られる態度をとっているかもしれないことを認識したことと思います。指導する際には、批判的、否定的な言動をせず、自分の価値観を押し付けず、一番大事なことは相手の成長が目的であるということを中心に心掛けてはなりません。

また自分がパワハラ被害者になったらどうすべきでしょうか。まず自分の悩みをじっくり聞いてもらう人が必要です。近年、病院内にそういう相談窓口を設けている施設が増えてきています。当院でも「働きがいのある職場作りプロジェクトチーム」が発足したばかりです。実際、社会福祉労務士の方以外に、院内の職員もそのスタッフに加わっているため、相談する側は相談内容の秘密が本当に守られるかという不安があるのも事実です。パワハラを受けていると感じたら、早めにその相手の上司と直接話し合える人もいれば、職場に別の良い上司や同僚に恵まれ、いつでも相談に乗ってくれるケースもあります。しかし誰にも相談できず苦しむ被害者になってしまったら、長期間悩み続けずに一度プロジェクトチームに相談してみたらどうでしょうか。良い解決策が見いだせるかもしれません。



New Face New Face

河島 明

第二内科部長
医師



9月より公立那賀病院から日高病院第二内科に赴任致しました。一般内科、内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、救急医療等様々な場面で看護師、コメディカルスタッフと協力しチーム医療を行い、日高地方の地域医療に貢献できるように微力を尽したいと考えております。また、地域の先生方と連携をとりつつ日高地域の医療の発展にも寄与できればと考えております。若輩ではございますが何卒よろしくお願い申し上げます。

白井 真代

歯科口腔外科
歯科衛生士

趣味：読書
特技：習字

ひとこと：これからよろしくお願いします。

田中 悠登

地域包括ケア病棟
介護福祉士

趣味：ゲーム、読書等
ひとこと：よろしくお願いします。



「R.ロードG」様より車イスの寄贈

平成 29 年 7 月 8 日、福祉支援グループ「R.ロードG」代表 西川 孝様より、車イスを 2 台ご寄贈いただきました。

当院では各所に車イスを設置していますが、近年、車イスの利用者が増え、台数が不足している状況でした。そうした中で、今回車イスを寄贈して頂いたことを大変うれしく思います。

今回車イスを寄贈していただいた「R.ロードG」様へ、職員一同心より御礼申し上げます。



表彰・認定・研修修了者等

おめでとうございます☆

平成 29 年 4 月 13 日

●日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師認定
三田 かほる

平成 29 年 6 月 10 日

●平成 29 年度和歌山県看護協会会長表彰
古田 陽子

平成 29 年 7 月 28 日

●自衛消防業務講習修了
西 浩司、伊山 彰彦、加藤 法彦



大規模地震時医療活動訓練報告

庶務課長・日本 DMAT 隊員

藤本 順智

平成 29 年 7 月 29 日（土）に政府主催の大規模地震時医療活動訓練を被災県の災害拠点病院として当院も参加しました。

まず、大規模地震時医療活動訓練とはどのような趣旨の訓練なのかということから説明させていただきます。近年発生が危惧されている南海トラフ地震（巨大地震）を想定し、南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画等に基づく大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施して、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関総合の協力の円滑化を図ることを目的としています。参加機関は、内閣官房、内閣府、警視庁、消防庁、厚生労働省（DMAT 事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省、JAXA、NEXCO、宮城県、新潟県、滋賀県、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県、関西広域連合が参加しており、全国の災害派遣医療チーム（以下「DMAT」という。）や災害派遣精神医療チーム（以下「DPAT」という。）も参加して行われた大規模な訓練となりました。

和歌山県内でも、和歌山県庁、各保健所をはじめ、県内災害拠点病院、DMAT 指定医療機関、精神科病院などが参加しました。

今回の訓練企画では、南海トラフ巨大地震が前日（28 日）の正午に発生したという想定で、当院には巨大な津波が押し寄せ、ライフラインが途絶し、自家発電も残りわずかである病院機能が維持できないような状況と考え、緊急病院避難を決断するという基本シナリオのみが決まっていたが、あとは DMAT や DPAT がブラインドで実施するという訓練になっていました。また、前日から当日の訓練終了まで、訓練コントローラーとして、那須赤十字病院救命救急センター副センター長・救急集中治療部長 林 堅二先生、豊橋市民病院看護局 倉島正成看護師、社会医療法人厚生会木沢記念病院医療技術部 児玉暁人



業務調整員、神奈川県立精神医療センター精神看護専門看護師 石田正人看護師にお越し頂き、訓練進行を行いつつ、わかりやすく説明、指導して頂きました。
当院では、職員参集訓練からはじまり、院内災害対策本部の立ち上げ、一般病棟、精神病棟の机上訓練、DMAT 及び DPAT の受援、緊急病院避難に伴う患者搬送訓練を実施しました。

日頃の地域での災害医療救護訓練では、地域の災害拠点病院としての役割を担い、赤タグ患者を中心に受け入れる訓練ばかりでしたが、今回は自院がライフライン途絶による継続的な診療が困難という直面にたたされ、今までとは真逆な立場となり、上位本部に対し



での依頼をすることが多くなりました。そして何より、受援に慣れていない当院職員は、DMAT が支援に来てくれた時になにをどこまでお願いすればいいのか、どこまでしてくれるのか、など手探り状態での進行となり、それぞれが個々に動いてしまい、横の繋がり（情報共有）が欠落してしまいました。ここを調整するのが、我々院内 DMAT のすべき役割ではあったのですが、他の業務に手を取られてしまいなにも行えませんでした。

そのような中で、良かったことは、この大規模な政府訓練に病院として参加できた、看護部門から大勢の職員が参加し経験できた、DMAT や DPAT からの支援を受けることができた、初の緊急病院避難の訓練を経験できたこと。

悪かったことや改善すべきことは、やはり情報伝達・共有、基礎的なロジスキルの習得、そして、災害時の専門的な研修・訓練を受けた人の意見をきちんと吸い上げる体制の構築が本部機能の更なるレベルアップに繋がっていけるので今後改善が必要だと感じました。



先般行われた和歌山県内関係者による訓練検証会や国の検証会の中でも和歌山県の新宮保健医療圏と御坊保健医療圏では全国トップクラスの医療資源等の投入が困難な地域であり、且つ被害状況も厳しい地域という認識が改めてされました。特に当医療圏においては管内4病院中3病院が浸水し、医療の継続が困難になることが想定されています。そうしたことから災害時に陸路、空路双方からアクセスしやすい環境であり、拠点となるべき場所を今後構築して行かなければいけないと厚生労働省 DMAT 事務局からも提言がありました。このことを災害拠点病院である当院単独ではなく、地域の医療を守っていく為にも、圏域全体で考え、国や県に上申していく必要があると考えます。

最後になりましたが、今回の当院の訓練に参加して頂いた御坊保健所、御坊市消防、そして職員の皆さん、ご協力ありがとうございました。また、前回の政府訓練でも担当して頂き、今回の訓練企画からも大変お世話になりました厚生労働省 DMAT 事務局 近藤久禎次長、岬 美穂先生をはじめ、岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座災害医学分野 藤原弘之助教、DPAT 事務局 知花浩也事務局員 等々の災害医療のスペシャリストの皆様のご協力のもと、なんとか無事に訓練を終えることが出来ました。今回も顔の見える関係を構築できていたことにより、様々な点においてスムーズに課題をクリアしていくことが出来ました。

県内外はもちろんのこと、この御坊保健医療圏においても、引き続きこのような顔の見える関係を構築し、いざという有事の際には、職員、関係する地域の方々とともに力を合わせていけるようにしていきたいと思えます。



No.42

2017年10月

月の手 TOUCH

国保日高総合病院

〒644-8655 和歌山県御坊市菌116番地2

TEL0738-22-1111(代表)

病院長 曾和正憲

<http://www.hidakagh.gobo.wakayama.jp/>

(9)

外来診療担当医師表

平成29年10月10日現在

			月	火	水	木	金	
Aブロック	整形外科	1診	湯川 <small>指定患者のみ</small>	西	西	金川	宮本	
		2診	坂田	金川	宮本	坂田		
		リハビリ テーション診	宮本	坂田	坂田	宮本	金川	
		義肢装具	義肢装具12:00より	義肢装具10:30より	義肢装具15:30より			
麻酔科	午前	羽場 <small>指定患者のみ</small>	羽場 <small>指定患者のみ</small>		羽場 <small>指定患者のみ</small>	羽場 <small>指定患者のみ</small>		
Bブロック	外科(消化器)	1診	山口和	有井	有井	山口和	山口俊	
		2診	山口俊		山口俊	有井		
	小児科	1診	派遣医 神波	五嶋	芳山	飯島	芳山	
		2診	飯島	(芳山)	米良	五嶋	飯島 第1・3 神経外来 津田 第2・4(予約)	
		午後診 (予約)		予防接種 芳山・五嶋	腎外来(第3週) 派遣医 島	1ヵ月健診 五嶋・米良	心臓外来 第1~3週 派遣医(鈴木・武内・末永)	
	脳神経外科	1診	尾崎	沖田	森脇	尾崎	大林	
		2診	大林	尾崎	派遣医	大林	沖田	
		午後3診 (予約)		もの忘れ外来(月1回) 交替制			もの忘れ外来(月1回) 交替制	
		5診 (予約)		森脇			森脇	
	皮膚科		派遣医		派遣医	派遣医	派遣医(午後より) 第1・3・5金曜日のみ 13:00~15:45	
形成外科			派遣医 久米川 受付は10:30まで					
Cブロック	眼科		井上	派遣医 新患は11:00まで	井上 受付は11:00まで	派遣医 新患は11:00まで	井上 午前中	
	泌尿器科	1診	青枝	青枝	青枝		青枝	
		2診	派遣医 宮井				派遣医 若宮	
	午後診	青枝 <small>指定患者のみ</small>	青枝 <small>指定患者のみ</small>	青枝 <small>指定患者のみ</small>	手術日	青枝 <small>指定患者のみ</small>		
Dブロック	内科	第1内科	1診	東	松谷	寺杣	松谷	東
			2診	玉置哲	西川	派遣医 玉置秀	西川	桑島
		第2内科	5診		宮田	吉松	山本怜	玉置真
	6診		河島	玉置真	河島	宮田	河島	
	第3内科	10診			新谷			
	専門外来	8診	(午前)腎外来 派遣医 国本		(午後) 派遣医 濱西	(午前)血液専門外来 派遣医 阪口 (午後) 派遣医 濱西 第2・4木曜日		
		10診		肝臓外来 派遣医 玉井 (13:00より)		(午後)甲状腺専門外来 派遣医 赤水 第4木曜日	大腸専門外来 派遣医 加藤 (14:00より)	
	循環器内科	15診	今西	玉置哲	今西	今西	小向	
		12診	横山	片岩	小向	片岩	横山	
		8診		寺口	寺口		寺口	
Eブロック	耳鼻咽喉科	1診	山本	山本 再診のみ	宮前	派遣医	山本	
		2診	宮前	担当医 初診のみ			宮前	
	産婦人科	1診	曾和	南條	島	西森	結木	
2診		西森	結木	曾和	南條	島		
午後			産科エコー 南	手術日	手術日	産科エコー 八木		
精神科	1診	北端	前田	北端	北端	前田		
	2診		安田	安田	前田	安田		
	3診	派遣医						
歯科口腔外科		中谷	手術日	中谷	手術日	中谷		
放射線科	読影	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内		
	午後				血管造影			

《 都合により、変更する場合がございます。 》



国保日高総合病院

TEL: 0738-22-1111 (代表)